

Asteria 総合探究 講座

協働学習
Collaboration

個人学習
Training

探究学習
Inquiry

テクノロジーの発達によって、社会の変化が進み、日々、多くの新しい情報が生み出されています。こうした社会では1人でさまざまな課題に立ち向かうことは難しく、他者と協働して課題を解決していく力が求められます。総合探究講座では、世の中の課題を、他者と協働すること・主体的に学ぶことをとおして解決する力を養います。

【中学生】推奨

特に、下記にあてはまる方におすすめです。

- 学校の勉強だけでなく、将来役に立つ力を身につけたい方
- 他者を巻き込んで世の中を変えていきたい方
- 文系、理系といった枠にとらわれず、様々な分野にチャレンジしたい方
- 課題を解決するために必要なコミュニケーションの力を伸ばしたい方
- 答えのなかなか出ない問題に協働して取り組み、解決する力を身につけたい方
- 最先端の学問やビジネス領域に触れ、将来の進路決定に役立てたい方



1.
新大学入試にも役立つ
課題解決の力が育つ

2.
他者と協働する力や、
主体的に学ぶ力が身につく

コミュニケーションや
問題解決の
スキルを磨ける

3.

4.
学びと社会との
つながりが実感できる

1. 新大学入試にも役立つ、課題解決の力が育つ

文部科学省は、大学入試改革も含めた教育改革（いわゆる高大接続改革）を検討するにあたり、下記の3つを「学力の3要素」として掲げています。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ② これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力など
- ③ 主体的に学習に取り組む態度（主体性・多様性・協働性）

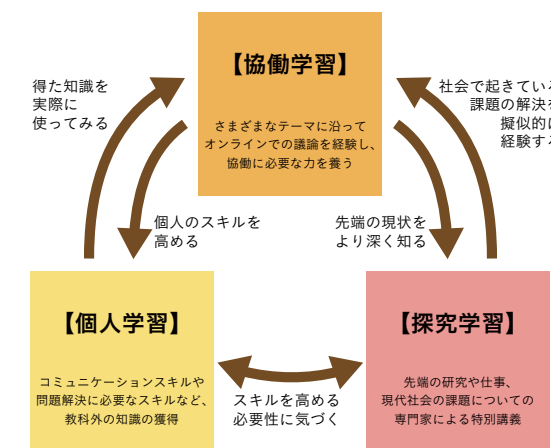
この3要素、なかでも③の「主体的な学習態度」を育てるには、受け身になりがちな講義型の授業だけではなく、学習者が能動的に参加できる「対話型の学び」が有効です。「対話型の学び」というとグループワークや討論型の授業が思い浮かびますが、重要なのはそうした形式ではありません。以下のようなポイントをふまえて学びが設計されているかどうかで、学習効果は大きく変わってきます。

- 知識習得が目的ではなく課題解決のための手段となっていること、さらに、そのための知識が得られる場面も用意されていること
- 対話や議論のテーマが、子どもたちの意欲を喚起するものになっていること、対話に主体的に参加できる仕組みがあること
- 学習中に得た知識や経験を、実生活や今後の人生に活かせるものであること

「アクティブ・ラーニング」という言葉が急速に浸透し、学校教育の場においても対話的学びの実践が広がっていますが、学校や地域による格差も大きいのが現状。そこで、上記のポイントをふまえつつ、通信技術によって、どこにいても「対話的な学び」を経験していただけるようにしたのが本講座です。

本講座では、「対話的な学び」を中心として、「教科外の知識習得を目的とした学び」「社会について知り、意欲を高めるための学び」の3つの柱を立て、それぞれ【協働学習】【個人学習】【探究学習】と名付けました。この3つを経験していただくことで、主体的な課題解決力が自然と身につきます。

総合探究講座の3つの柱



【協働学習】 オンラインでの議論を経験することで、協働する力と同時に、自分に必要なスキルが明確になるので、主体的に学ぶ力が身につきます。

【個人学習】 コミュニケーションや問題解決に関するスキル・知識が磨かれます。

【探究学習】 第一線で活躍する方の講義を視聴することで、社会の課題や、自分がどのように社会に貢献できるかについて考えるきっかけとなり、学びと社会とのつながりが実感できます。

こうした講座設計は、21世紀型スキル・協調学習・ICTによる学習環境の支援等をテーマに研究を行っている、聖心女子大学の益川弘如教授の監修によるものであり、効果的な学習の方法を科学的に研究する学問「学習科学」の知見を活用しています。

本講座で学んでいただくことにより、すでに東京大学・京都大学など一部の難関国立大学で導入が進んでいる推薦入試をはじめ、今後明らかになっていくであろう新大学入試に向けた土台づくりとして役立てていただけます。

2. 他者と協働する力や、主体的に学ぶ力が身につく

【協働学習】 月1回・所要時間 60分

協働学習では、月1回、受講者どうしてオンライン・ディスカッションを経験していただきます。

テーマ例（予定）

- ・これからの時代に必要な学びとは？
- ・人工知能と人間は共存できる？
- ・スポーツの効率的なトレーニング法とは？

テーマは上記のように、従来の教科の枠を超えた社会的な内容を取り扱います。

学習は、まず予備知識なしにテーマに対する自分の考えを書いてみるからスタート。その後、最大3人のグループに分かれ、与えられた資料を読み込んで、資料に対する理解を深めます。

次に、異なる資料を読んだ受講者が1人ずつ集まって新たなグループを作ります。参加者は自分が担当した資料について説明しながら、自分の知識や経験とつなげて考えを深め、グループ内で共有していきます。その後、それぞれのグループで出た意見を発表しあう時間を経て、最後に、議論を通じて考えたことを各自が書いて提出します。

協働学習の特長

- 訓練を受けたファシリテーターが議論を進行。ディスカッション中の発言などをもとに、終了後アドバイスを返すほか、議論後の提出課題にも論理性・多様性の受容といった観点でコメントを返却するので、**議論の進め方が学べる**
- 学校とは異なるメンバーとの議論によって、**多様な意見に出会い、気づきが得られる**
- 視野が広がり、社会への理解が深まった結果、**自分ごととして意見がもてるようになる**

協働の力を高める3種類の評価

学校教育における協働学習で課題となっているのが、生徒が客観的な評価を受けられないという点。特に、話すのが苦手な生徒は評価されにくいのが実情です。

本講座では、議論中の発言だけでなく、終了後の提出課題も評価してお返ししますので、あまり発言できなかった場合でも、別の観点でフィードバックを受けられるようになっています。さらに、課題発見・解決の力を測るテスト（次ページ参照）でも力の伸びを定期的に測定。合計3種類の方法で多面的な評価を行うので、議論が苦手な方も安心してご受講いただけます。

テーマ例：中学生にも選挙権はあったほうがよい？

1. 最初に自分の考えを書く

政治のことはまだよくわからないし、中学生には無理じゃないかな？

2. 与えられた資料を読む

へえ～！
こんな考えもあるんだ！

*資料は複数種類あり、3の段階では、異なる資料を読んだ受講者でグループを作ります。

私の資料には、海外には選挙権年齢を18歳以下にしている国も多いと書かれていました。理由は…だそうです。

3. 資料での学びを他者と共有する

*iPad内蔵のマイクを使って会話をします。参加者はアイコンで表示されるため、氏名などの個人情報外部に出ることはありません。

4. 自分の知識や経験とつなげる

僕は、まず大人や大学生が選挙に関心をもつべきだと思うな！
なぜかというところ…

5. いろいろな意見を知る

6. 再度、自分の考えを書く

私の意見は…

7. 議論を通じ、今後学びたいと思ったことを書いて提出

選挙の仕組みや海外の選挙制度について、もっと知りたい！

*6・7を事後課題として提出いただけます。

3. コミュニケーションや問題解決のスキルを磨ける

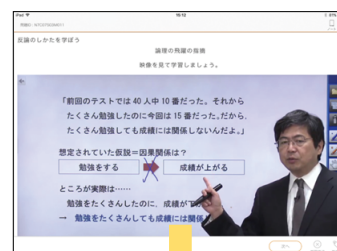
【個人学習】

【協働学習】が問題解決の経験を積み実践の場だとすれば、【個人学習】とは問題解決とコミュニケーションのスキルを磨く、トレーニングの場。あわせて100以上の項目が用意されており、1か月の学習量に決まりはないので、興味のある範囲から始めていただけます。また、協働学習を経験すると、ファシリテーターが受講者1人ひとりの特性を見て、必要と思われる個人学習のテーマをおすすめします。何のために学ぶのが明確になるので、主体的に学びに向かう姿勢が生まれます。

問題解決

明確な答えのない問題を仲間とともに解決するのに必要な

- 手持ちの情報から主張を組み立てる力
 - 仮説形成や反論により議論を深める力
 - 議論をもとに次への行動を提案する力
- などが身につく



コミュニケーション

今後、さまざまな文化的背景をもつ相手とともに問題解決に取り組んでいくために必要とされる

- 聞く、話す、読む、書くの4つの力
 - ディスカッションの進め方
- が身につく



1. 映像講義を見る

いずれも10分以内で短くまとまっているので、空き時間に気軽にご覧いただけます。

2. 確認問題を解く

映像講義で得た知識をすぐに定着させることができます。

3. 即時の正誤判定・解答解説

不正解の場合は、解説を読んだり映像を見直したりすることで理解が深まります。

*「コミュニケーション」の確認問題の中には、現時点でのコミュニケーションの状況をセルフチェックし、自分にあったアドバイスを受け取ることができるタイプのものもあります。

「課題発見・解決能力テスト」で、力の伸びを定期的に測定

本講座を受講された方は、年3回、「課題発見・解決能力」を測定する試験を受験することができます（受験料は講座料金に含まれます）。試験では、たとえば「自然環境を保全するための解決策は？」といった問いに対し、提示された資料からいかに情報を収集したか、それによってどんな意見を構築できたかといった思考のプロセスを、複数の問題の解答状況をもとに評価します。解答の正誤で判定する従来型の評価とは異なり、自分の強みや改善点が成績表（右図）で明示されるので、次の学びに活かすことができます。

基礎学力アセスメントシリーズ
LIPHARE

*このほか、「行動能力・興味関心セルフチェック」も年1回受験できます。これらは、Z会グループの基礎学力総合研究所が開発した、教育新時代に求められる「基礎学力」を測定するアセスメントシリーズ「LIPHARE」（リファール）の一種です。詳しく知りたい方は、下記のwebサイトをご覧ください。

www.211ri.co.jp/liphare/

【年3回実施／1回90分】



4. 学びと社会との つながりが実感できる

【探究学習】 月1回・所要時間 60分

日々刻々と新しい技術が生み出される、変化の激しい時代。いま中学生の子どもたちが社会に出るころには、変化のスピードはますます加速していることでしょう。

このように予測不可能な時代においては、大人になってからも「自ら学び続ける力」が必要です。その力の土台をつくるために、【協働学習】【個人学習】に続く3本目の柱となるのが、【探究学習】。講師として、月1回、さまざまなジャンルで活躍する方をお呼びし、講義を配信します。

これを通じ、自分たちが生きる社会の課題について深く考えたり、近い将来自分はどのように社会に貢献できるかを考えたりすることができ、自らの進路を考えるきっかけとなります。

▼第1回は伊藤藤一氏（マサチューセッツ工科大学メディアラボ所長）が登場



各界の第一線で活躍している方のお話をアプリ内で視聴することができます。
ライブ配信では視聴時間が限定されますが、コメント機能で登壇者に質問することも可能です。ライブ配信日に見逃してしまった場合でも、アーカイブ配信でいつでもご覧いただけます。



こんな学問分野があるんだ！
おもしろそう！

こういう社会貢献の
しかたもあるんだ！
私もこんな生き方が
してみたい！

海外で活躍してるんだ！
私も英語が話せるように
がんばろう！

協働学習との連動で、関心を深掘り

協働学習で「地域活性化」をテーマにした月は、探究学習でも地域振興の具体例を取り上げるといったように、協働学習と探究学習のテーマは連動したものになっているので、その月のテーマへの関心がより深まります。協働学習の前・後、いずれでも、お好みのタイミングでご覧ください。

探究学習で期待される学習効果

- 学校の先生や保護者以外の大人と出会うことで視野が広がり、**主体性をもって、自らと社会とのつながりや、将来の進路を考えるきっかけとなる**
- 協働学習と関連するテーマについて別の角度から考えることで、**知識がより深まり、新しい視点で生活や社会を眺められるようになる**

テーマ例（予定）

- ・学びや学校のあり方
- ・日本映画が海外でヒットするためには
- ・地域活性化の実例
- ・キャラクターの著作権

Q&A

よくあるご質問

Q 受講前に準備すべきものは何ですか。

A iPad とインターネットの接続環境、必要に応じタッチペンなどの周辺機器をご用意ください。

学習にはiPadを使用いたします。iPad（第4世代以前）、iPhone、iPod touch には対応していません。対応するiPadの機種や必要な周辺機器に関する情報は、随時更新していきますので、Asteriaのwebサイトにてご確認ください。

＊iPad、iPhone、iPod touch は Apple Inc. の商標です。

Q 「英語4技能講座」のオンラインレッスン受講の流れを詳しく教えてください。

A 事前にご希望の日時を選んで予約していただければ、該当の時間に自動的にレッスンが始まります。

オンラインレッスンは月曜から土曜の16:30～21:30の時間帯（日本時間）に実施され、1回のレッスンは25分間となっています。ご希望の時間帯を選んで予約していただくと、該当の時間にアプリ上で通知が届いて、レッスンが始まります。時間帯は翌日から7日分が示され、前日までは、予約の変更や取り消しも可能です。レッスンの最後にはその場で評価とフィードバックをお伝えし、さらに評価シートをタブレット上にお送りします。

1か月の受講回数が2回・4回・6回のプランがありますが、近い将来、留学などをお考えの場合は月6回のプランを、そうでない場合は月4回のプランを選び、毎週1回のペースで取り組んでいただくとよいでしょう。定期的に時間をとるのが難しい場合には、まずは月2回のプランで開始していただき、状況を見て、4回または6回に変更していくことをおすすめします。その月に受講しきれなかった場合でも、発行日から180日間は受講が可能ですのでご安心ください。

Q 受講にはどのような手続きが必要ですか。

A まず Asteria の web サイトにてお申込みいただくことをおすすめしています。

Z会 Asteria のお申込み（契約）には、web から申し込む「クレジットカード決済」と、アプリ上で申し込む「App 内課金」の二つの方法があり、より安価な「クレジットカード決済」がおすすめです。

web 上でお申込みいただいたのち、iPad にアプリをダウンロードすると、すぐに学習を始めていただけます。受講契約は1か月単位で自動更新される仕組みとなっております。詳しくはwebサイトの「Application（アステリアのお申込みはこちら）」よりご確認ください。

Q 受講中に質問はできますか。

A 可能です。アプリのノート機能で質問する方法と、提携サービスをご利用いただく方法があります。

Z会 Asteria では、学習中いつでも画面を開いて書き込むことができるノート機能があります。この機能を使って教科内容に関する質問をいただくと、Z会確認後、3営業日以内に回答が閲覧できるようになります。

また、Z会と提携しているサービス「スマホ家庭教師 manabo[®]」をご利用いただくと、教科内容の質問だけでなく、学習相談・進路相談にもお応えいたします。「manabo」とは、難関大に通う現役大学生のmanaboチューターに、iPadやスマートフォンから24時間自由に質問・相談が可能なサービスで、よりスピーディーな回答をご希望の方にはこちらをおすすめいたします。Asteriaを受講されている方は、「manabo」をZ会専用のプランで、1か月最大1時間まで無料でご利用いただけます。

Z会 Asteria へのお問い合わせ www.zkai.co.jp/home/z-asteria/



< Z会 Asteria の受講をご検討中の方 >

web サイトの「メール登録フォーム」にてメールアドレスをご登録ください。

Z会 Asteria に関する最新情報や、無料体験のご案内などを差し上げます。

< 受講に関してお問い合わせを希望される方 >

お問い合わせの際は、 ①講座名 ②お名前 ③ご要件 の3つを最初にお知らせください。

▼推奨端末・ご利用環境に関するお問い合わせ

Z会テクニカルサポートセンター 電話：0120-636-322（フリーダイヤル・通話料無料）
受付時間 月曜日～土曜日 9:00～20:00（年末年始を除く、祝日も受付）

▼その他、受講に関するご相談など

Z会 Asteria 事務局 メール：z-apps@zkai.co.jp 電話：0120-83-0022（フリーダイヤル・通話料無料）
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～12:00、13:00～18:00（年末年始を除く、祝日も受付）

価格

決済方法によって金額が異なります。

クレジットカード決済の場合は、受講を開始される前に、Web サイトよりお手続きが必要となります。Asteria アプリ上で受講申込みを行うと、App 内課金での契約となり、Apple 社の手数料を含む金額がお使いの iTunes アカウントに課金されます。

＊価格は変更になる場合がございます。

おすすめ	
クレジットカード決済	App 内課金
7,800 円	10,800 円

（税込・1か月間有効）